

提案書 (提案項目)

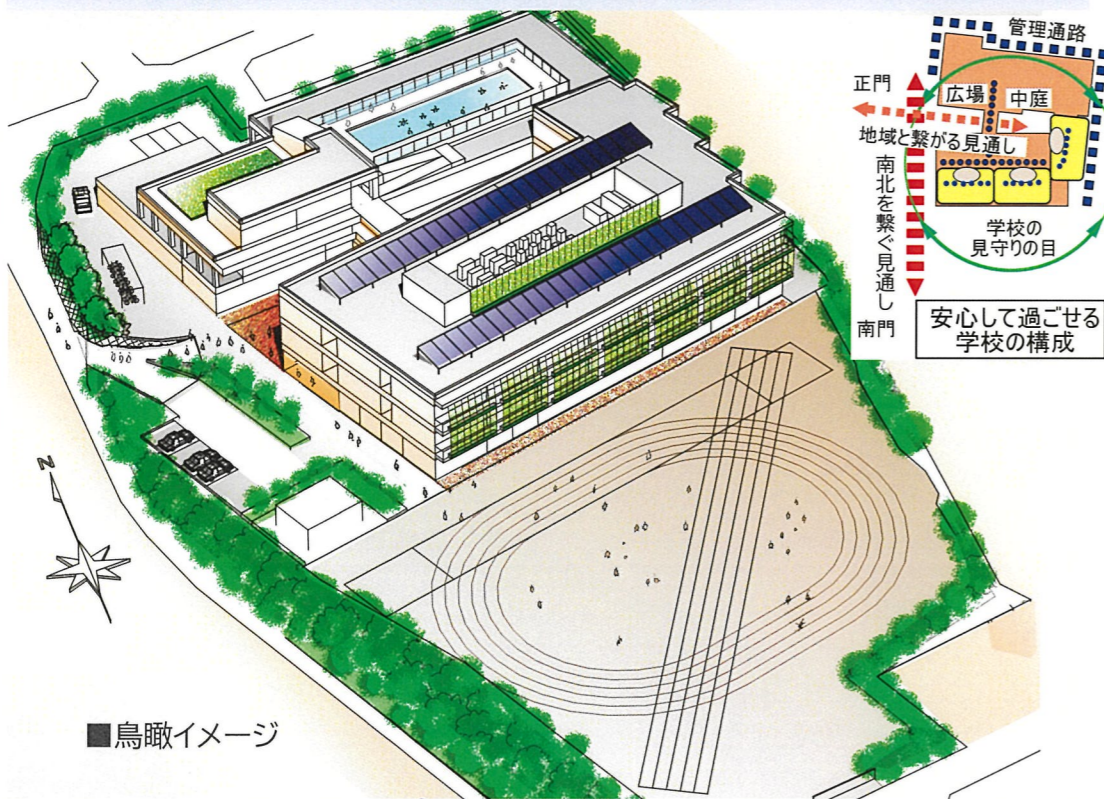
件名 二俣川小学校建替え工事に伴う設計業務委託

事務所の商号又は名称

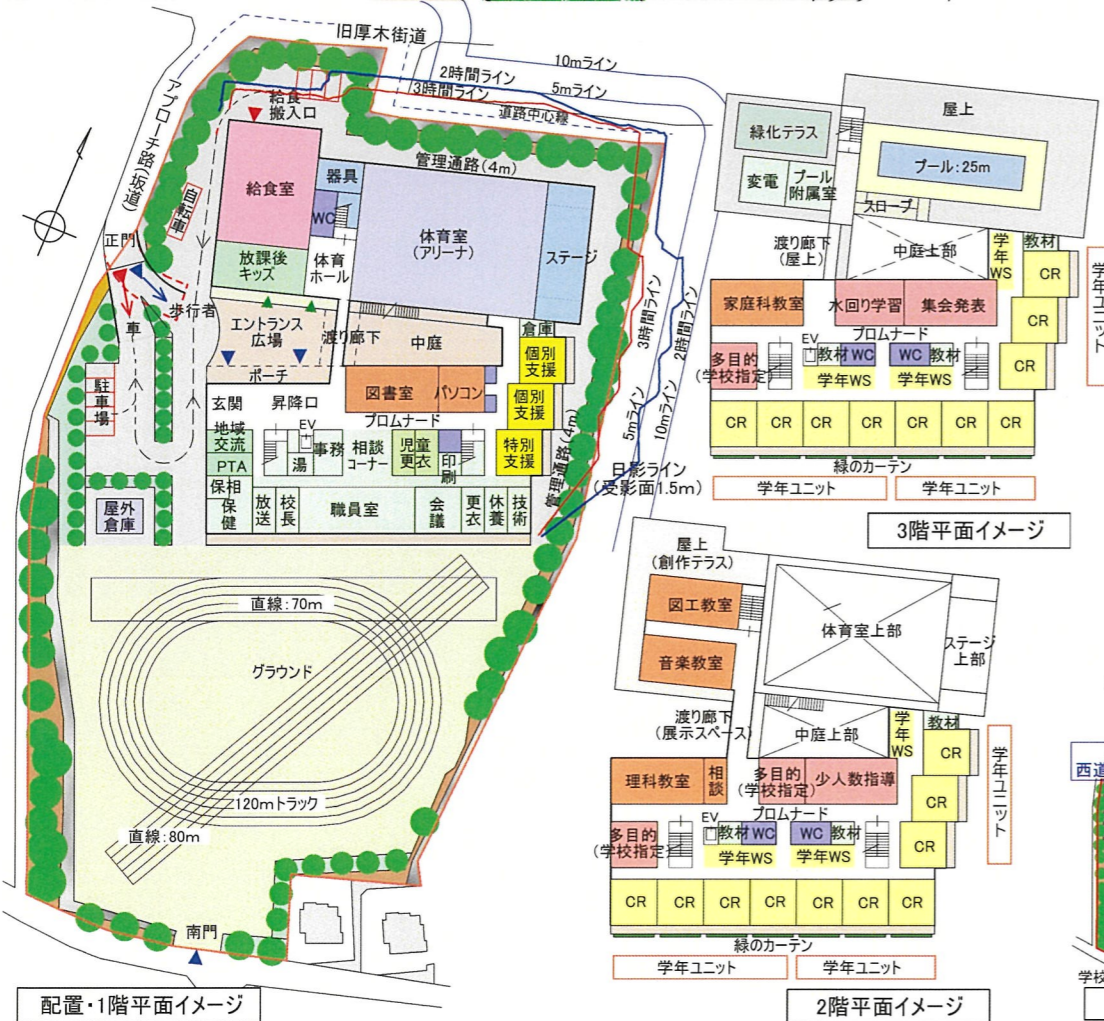
株式会社 国設計

地域の中で児童の主体的な学びと活動を支える学校

◆子供たちが安心して過ごせる居場所と表現力を育む空間をつくります◆



鳥瞰イメージ



配置・1階平面イメージ

2階平面イメージ

(1)施設計画及びコスト削減の考え方についての提案

ア 良好な学習環境を実現するための施設計画

1. 児童と地域の方々を気持ちよく迎入れる空間をつくります。

- エントランス広場: 旧厚木街道から坂道を上った正面に広場を設けます。昇降口と放課後キッズクラブが面し、児童同士が出会い気持ちを切替える空間です。ループする車路を設け、歩車を分離します。
● 活動の中心となる中庭: 学校活動が垣間見え、地域の方々も迎入れる空間です。友達と遊ぶ憩いの場、図書室の屋外閲覧室、外階段や教室から見え児童の表現の幅を広げる屋外ステージとなります。

2. 学習の楽しさを伝える移動空間をつくります。

- 内部はプロムナードと学年ユニット内廊下のダブル廊下で他学年の学年ユニットを通り抜けることなく、どの特別教室にも繋がります。
● プロムナードに教科の魅力伝える教材や児童の作品を展示することで、教科を実感しながら主体的に学習に取り組む姿勢を育てます。

3. 普通教室: 学年ユニットを構成し伸びやかな生活空間をつくります。

- 南面・東面に配した普通教室、ワークスペース、教材倉庫で学年ユニットを構成します。学年 WS は教室の延長スペースで習熟度別・グループ学習等の多様な学習形態を展開することが可能です。
● 個別支援・特別支援教室は1階・東側の落ち着いた場所に配置します。

4. ゆとりあるスペースで多様な体験ができる特別教室をつくります。

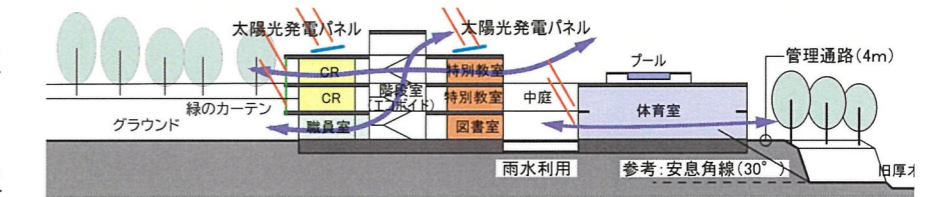
- 特別教室・多目的教室はプロムナード沿いに、音の出る音楽室・図工室は体育館2階に配置し、テラスを創作スペースとして活用します。
● 多目的室は分散させ、特別教室を支える教室として活用します。

5. 児童と先生の繋がりを育む空間をつくります。

- 職員室等を校務センターとしてまとめ、開放的な相談スペースを設けるなどで、児童と先生の気軽なコミュニケーションを育みます。
● 低学年のWSに教師コーナーや、特別教室に先生手作りの教材を作成するスペースを設けるなど、先生の居場所が校内に点在することで、児童と先生が繋がる機会を増やします。

6. 自然の力を利用した快適な室内空間をつくります。

- 2つの階段は換気のエコボイドに、中庭は採光と通風に利用します。
● 普通教室前のバルコニーは日除けになり、雨天でも窓開けができ、南側の「緑のカーテン」は黒板のグレアを防止し日照を和らげます。



イ コスト削減の具体策の考え方

- 校舎棟と体育館の一体化で規模縮小し、建設コストを合理化します。建築面積(4,231㎡⇒3,650㎡)、延べ面積(7,990㎡⇒7,600㎡)
● 工事手順を工夫し、解体工事で利用する正門スロープを完成後も駐車場への通路として利用し、二度手間を省きます。
● 西面教室を大幅に減らし、バルコニーにより日射を低減します。階段吹抜(エコボイド)は自然換気の効率を高め空調費削減を図ります。

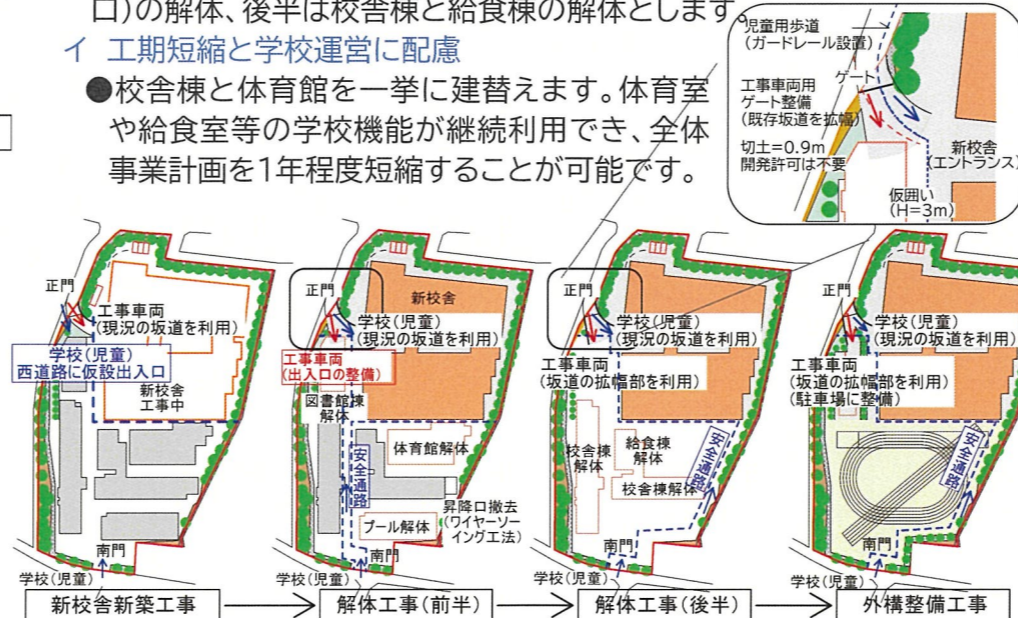
(2)工事中の安全・学校運営への配慮についての提案

ア 工事中の児童の安全配慮と工事車両との分離

- 工事中の登下校門は、通学区域の中央部に位置し、火災等による校外への避難経路を考慮し、2方向に設けます。
● 南門側道路は道幅が狭く工事車両の通行は困難なため、正門を工事車両の主出入口とします。児童と近隣住民の動線に十分配慮し、アプローチ路(坂道)にガードレールを設置する等、歩車分離を徹底します。
● 児童の2方向避難の安全通路確保のため、解体工事は2段階に分けます。前半は体育館・プールの解体と校舎一部(昇降口)の解体、後半は校舎棟と給食棟の解体とします。

イ 工期短縮と学校運営に配慮

- 校舎棟と体育館を一挙に建替えます。体育室や給食室等の学校機能が継続利用でき、全体事業計画を1年程度短縮することが可能です。



(3)成果物等の品質確保、業務の進め方と取組体制について

ア 成果物の品質向上

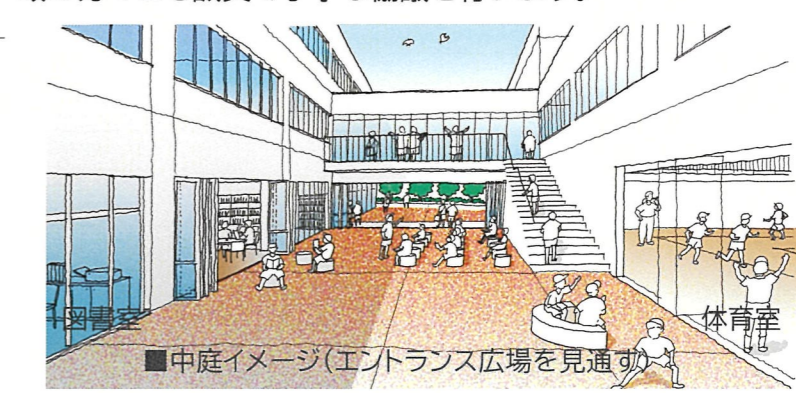
- 基本設計は要望項目を整理し、実施設計にスムーズに移行します。実施設計では施工者に解りやすい図面作成を行います。
● 最終成果物は照査担当者(当社設計部長)が整合を確認することで品質の向上を図ります。

イ スケジュール・管理方法・監理体制等

- 業務計画の設計行程書により打合せを進め、管理技術者が進捗を随時確認します。
● 設計段階では各分野の担当者が基本・実施・監理を継続して担当し、工事監理は施工に長けたものが補佐します。

ウ 連携のしかた等の取組体制

- 発注者と委託設計事務所は定期的に調整会議を行い、事前に提出した資料に対する意見交換を行うなど、効率の良い会議にします。
● 歴史ある二俣川小学校の新たな伝統を築くため、市の担当部局の他、学校や地域の方々とも誠実に丁寧な協議を行います。



中庭イメージ(エントランス広場を見通す)